

2025年度学校自己評価(認定こども園東海大学付属熊本かかもめ幼稚園)

学校法人東海大学初等中等教育課

評価(Aよい Bおおむねよい Cどちらともいえない Dやや不十分 E不十分)

分野	重点目標	成果と課題	評価	改善策・向上策
園運営（分掌）	学校評価（自己評価・保護者アンケート）をふまえ、学校運営上の課題について、改善する。	2025年度は創立52年目を迎え教育活動では一層の教育充実のための新たなプログラムを実施し、危機管理対策としては、2023年度より実施している全保護者を対象にしたアンケートの結果をもとに、園の出入りはフェリカカードを導入し、安全・安心の環境促進に効果を発揮することができた。今後も保護者のアンケート結果を園運営に生かして、より安心安全で充実した教育環境の改善・充実に務めていきたい。	A	2023年度から全保護者対象に行なっているアンケート結果をもとに2025年度は安心安全の園内環境作りの一貫として、園への出入りにフェリカカード式オートロックシステムを導入し、セキュリティ対策に効果をあげることができた。今後も保護者、地域から更に信頼・支持される園作りを目指したい。
保育指導（教育課程・幼児指導）	主体的に興味関心のある遊び・及び課題に意欲的に取り組み、生きる力を身につけられる保育を展開する。	東海大学の幼児教育の教育目標に則った遊びを通した総合的な指導の一環として「主体性を育てる・創造力を養う」ことに主眼を置いた活動として「KIPWEEK」の活動を取り入れた。従前より実施しているなかよし教室、なかよし広場を土台とした活動の充実を目指すとともに、自主的に考えて行動する「生きる力」の養成にも成果をあげることができた。2025年度から始まった幼高大連携プロジェクトでは大学と高校の協力を得てこれまで以上の新たな体験活動が広がり、更なる興味・関心の高まりを期待したい。	A	今後も東海大学における一貫教育システを生かしながら、幼児教育の教育目標の主旨に沿って、幼高大連携プログラムの活動・体験を通して教育環境の一層の充実を図り、生きる力・創造性溢れる園児の育成に努めたい。
クラス指導	教育目標を取り込んで、学級運営と学年運営の充実を図り、特色あるクラス指導をする。	東海大学の幼児教育目標をそれぞれのクラス担任の学級経営方針に生かし、特に2025年度は挨拶の励行を園全体の目標に掲げ、年齢や学年に応じた指導を踏まえながら、自ら進んで挨拶ができるようになるなど一定の成果をあげることができた。就学前に必要な幼小の接続、学びに向かう力の養成などを通して非認知能力を高める活動内容を今後さらに充実することが求められる。	B	クラス指導は園の目標、学級経営案に沿って実践していくが、クラス状況によっては見直しが必要な場合もあるので、常に、改善・向上策を念頭に置きながら、多彩な教育活動を推進し、特色あるクラス作りを目指したい。
生活指導	自立できる子どもをめざして、それぞれの子どもの成長に寄り添って、発達段階を見据えた指導をする。	基本的な生活習慣の獲得と定着に向けて一人一人に応じた指導・援助を丁寧に行い、自立に向けて各家庭と連携をとりながら、生活習慣として根付くように指導していきたい。	B	幼稚園のみならず、各家庭との連携、協力を得て、持続可能な幼児期に身につけたい生活習慣の獲得を目指したい。
就学指導	就学について、情報を提供し、さまざまな相談に応じ、適切な指導をする。	小学校見学、連絡会、入学式、卒業式などを通した幼小の交流、情報交換により、一人一人のスムーズな就学に繋げることができた。2025年度は教職員を対象に地域の小学校の校長先生に幼小の接続、連携について講話をいただき、就学指導に繋げることができた。今後も小学校との交流を継続しながら、緊密で適切な就学指導を行っていききたい。	A	小学校との連携、情報交換の内容は必要に応じて保護者に発信し、小学校就学への安心と期待につなげていきたい。
特別活動	園行事や保育活動等を通して、豊かな情操を培い、異なる学年との交流が図られるよう指導する。	2025年度も引き続き一貫教育の中で高校と幼稚園の教員が互いを訪問し授業を行うという「東海キッズ学びタイム」「サタゼミ」を実施し、双方向で貴重な経験、学びを得ることができた。「サタゼミ」は2025年度で終了となるが、2026年度は幼高大連携プロジェクトにおける取り組みの中で、「学びタイム」実施に向けて担当者との打ち合わせを綿密に行っていききたい。2025年から実施の「KIPWEEK」の活動も異年齢間の交流が更に深まることを期待したい。	B	大学や高校との交流とともに、近隣の中学校のナイスライ、地域住民との交流を通して、幅広く人との関わり、豊かな情操を育む機会を多く持ちたい。
研修	保育改善、研修、自己課題等に積極的に取り組み、先取的保育が構築できるように研鑽する。	2025年度は学期に1回教員研修日を設け、小学校との接続、特別支援、幼高大連携プロジェクトについて講師を招き研修を行い、保育現場の取り組みに生かすことができた。今後も教員の資質向上とともに、より質の高い保育・教育の獲得を目指し積極的に研修に取り組むたい。	B	学期に一度の研修会の成果を共有しながら、今後も各人のテーマに沿って、園内外の研修会に積極的に参加し、教職員の更なる資質向上を図りたい。